

27. ^{111}In -chloride 骨髄シンチグラフィの血液疾患における有用性の検討
——骨髄生検像との対比を中心として——藤島 護他...1438
28. 当院における甲状腺癌の ^{131}I 内用療法の実況.....川瀬 良郎他...1439
29. $^{99\text{m}}\text{TcO}_4^-$ を用いた甲状腺シンチグラムの検討伊藤 信昭他...1439
30. ^{201}Tl -Cl による甲状腺癌の転移の検出永井 清久他...1439
31. 甲状腺腫瘍におけるタリウムシンチグラフィの有用性について佐藤 伸夫他...1439
32. 甲状腺髄様癌および副腎褐色細胞腫における ^{131}I -MIBG シンチグラフィ曾根 照喜他...1440
33. Non-functioning parathyroid Cyst のシンチグラム：特徴的な集積像について福永 仁夫他...1440

一般演題

1. 肺癌における最近の各種腫瘍マーカーの検討

新屋 晴孝 平木 祥夫 藤島 護
戸上 泉 加地 充昌 白神 敏明
武田 芳弘 木本 真 上者 郁夫
橋本 啓二 森本 節夫 青野 要
(岡山大学・放)

原発性肺癌23例(腺癌7例, 扁平上皮癌7例, 小細胞癌7例, 大細胞癌2例)について CA 125, NSE, SCC の値を測定した。

肺癌全体での陽性率は, CA 125 は cut off 35 U/ml で 52.3%, cut off 65 U/ml で 34.8%, NSE は cut off 10 ng/ml で 33.3%, SCC は cut off 2 ng/ml で 42.9% であり, それぞれ腺癌, 小細胞癌, 扁平上皮癌で他の組織型に比し高い陽性率を示した。

臨床病期別では, CA 125, NSE は病期の進行に伴い増加傾向がみられたが, SCC にはみられなかった。

3種の腫瘍マーカー間には, 相関はみられず, 肺癌の組織別に応じた腫瘍マーカーの選択が有用であると思われる。

2. 肺癌における各種腫瘍関連抗原 (CEA, TPA, CA-125, SCC) 測定の意義

福永 仁夫 柳 真佐子 大塚 信昭
曾根 照喜 永井 清久 村中 明
古川 高子 柳元 真一 友光 達志
森田 陸司 (川崎医大・核)
松島 敏春 (同・呼吸器内)

肺癌51例(腺癌26例, 扁平上皮癌20例, 未分化癌5例)について, その血中 CEA, TPA, CA-125, SCC, NSE 濃度を測定し, その臨床的意義を検討した。腺癌では扁平上皮癌に比して, CEA, CA-125 濃度の高値例が多く, 他方, 扁平上皮癌では SCC 濃度の高値例がより多く観察された。TPA に関しては, 腺癌, 扁平上皮癌ともにほぼ同等の陽性率を示した。未分化癌では NSE の高値例が多く観察された。

TPA と CEA 濃度を測定し, 併せて評価すると, 腺癌および扁平上皮癌ではともに, 90%以上の陽性率を示した。

3. NSE (r-エノラーゼ) と塩野義「SD-8570」の比較検討

久保 嘉彦 片岡みどり 赤木 直樹
小川 恭弘 (高知医大・放部)
西岡 正俊 山本 洋一 前田 知穂
(同・放)

二抗体法による Neuron Specific Enolase の測定用キ